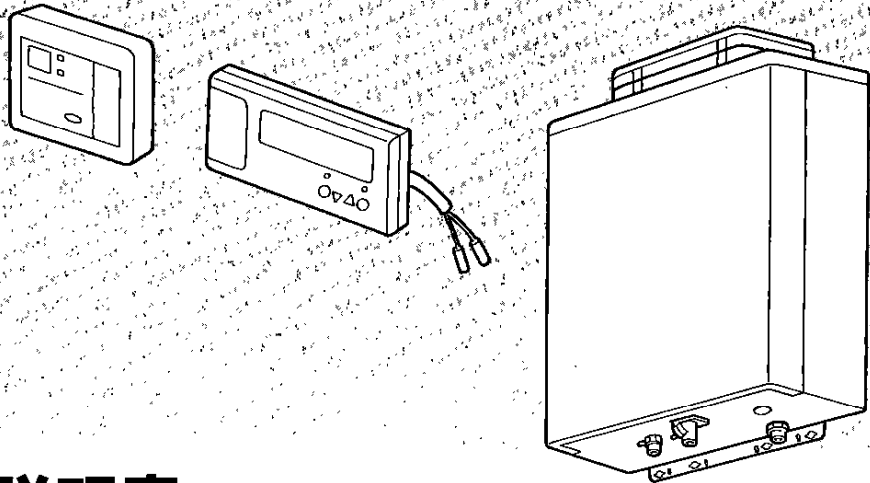


# ガス給湯器

33-353型  
33-354型

型式名 TP-WQ555QR  
TP-WQ555QE



## 取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」をいつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス給湯器をお買い上げいただき、ありがとうございました。

※取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型式名、製造年月をお知らせください。

## 特長・機能の紹介

1. 給湯能力が大きいため、冬でも三カ所同時にお湯を使うことができます。
2. 給湯湯温は、リモコンにより約35°C~75°Cの間で16段階の調節をすることができます。  
(13ページをごらんください)
3. 別売の浴室リモコンを取りつけると二カ所で操作ができます。(10ページ以後をごらんください)
4. 3台までの連結システムが可能です。

## もくじ

●ごあいさつ	1
●特長・機能の紹介	1
●もくじ	1
●必ずお守りください	3
●各部の名まえと扱い方	9
●初めてお使いいただくときに	12
●使用方法	13
●点検・お手入れ	21
●故障かな?と思ったら	24
●寸法図	28
●仕様	30
●保管とアフターサービス	32

# 安全に正しくお使いいただくために

## 表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



### 危険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



一般的な禁止



火気厳禁



触れるな



分解禁止



必ず行う



電源プラグを抜け



アースを接続せよ

**お願い**

ご使用になるときは、よく理解していただきたい内容を示しています。

(〇〇ページ)

文章中の ( ) 内のページは参照ページを示しています。

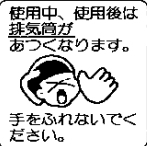
## 機器本体の表示について



使用中は、熱くなります。  
手をふれないでください。

### やけど注意

排気口や周囲が高温になるためやけど注意を表示しています。



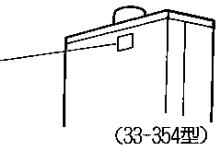
使用中、使用後は  
排気筒が  
あつくなります。  
手をふれないで  
ください。

### 使用上のご注意

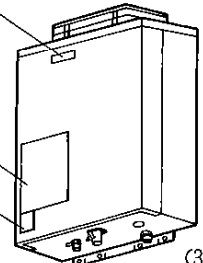
使用上の注意について表示しています。

### 銘板

型式名・使用ガスの種類・製造年月・  
製造業者等を表示しています。



(33-354型)



(33-353型)

# 必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

## ⚠危険

### ■ガス漏れ時の処置(33-354型の場合)

- ガス漏れに気づいたときは全ての処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気機器（換気扇その他）のスイッチ入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

- ①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。
- ②窓や戸を開けガスを外へ出す。
- ③お買い上げの販売店または大阪ガス支社へ連絡する。



## ⚠警告

### ■ガス漏れ時の処置(33-353型の場合)

- ガス漏れに気づいたときは全ての処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気機器（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し火災になることがあります。

- ①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。
- ②お買い上げの販売店または大阪ガス支社へ連絡する。

## ⚠危険

### ■排気筒の定期点検(33-354型の場合)

- 排気筒(排気トップを含む)が外れたり、鳥の巣、くもの巣、落葉、ススなどでつまったり、ふさがっていると排気ガスが室内に漏れて一酸化炭素中毒の原因となり危険です。

- 排気筒が鳥の巣やススで詰まっていますか。室内に排気ガスが入って一酸化炭素による中毒のおそれがあります。

## ⚠危険

### ■機器設置(および付帯工事)(33-353型)

- この機器は屋外用ですので絶対に屋内に設置しない。不完全燃焼を起こし、大変危険です。

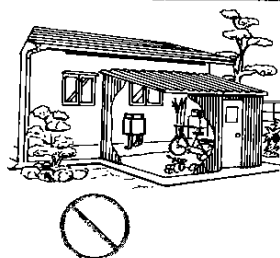
## ⚠警告

### ■機器設置(および付帯工事)

- 33-354型は、屋内用ですので屋外に設置しない。風により炎が機器の外にあふれて火災のおそれがあります。また雨水の浸入や炎が風にあおられて故障の原因となります。

- 33-353型は、屋外設置形ですので、増改築などによって屋内状態にしない。また、排気口の前方に物を置いたり、設置後機器を波板などで囲いをしない。不完全燃焼の原因や火災のおそれがあります。

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店または、大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する。設置工事に不備があると事故の原因となります。



### ■換気注意(33-354の場合)

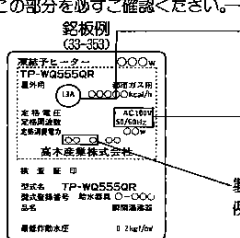
- 換気口・給気口は常に確保し、物でふさがない。不完全燃焼の原因となります。

# 必ず守りください

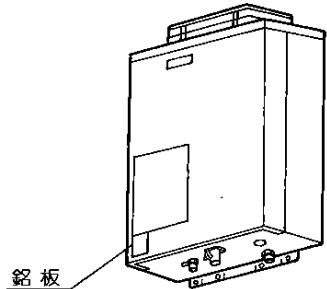
## 警告

### ■使用ガス・使用電源について

- 銘板（機器前面に貼付）に表示してあるガス（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）以外では使用しない。表示以外のガスを使用すると不完全燃焼および爆発点火の原因となります。
  - 転宅されたときにも、供給ガスの種類と銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。
  - この機器はAC100V、50/60Hz共用です。
- お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。  
(注)この部分を必ずご確認ください。



製造年月日を表示しています。  
例) 95.5→1995年5月製造



銘板

### ■火災予防

#### 〔可燃物に注意〕

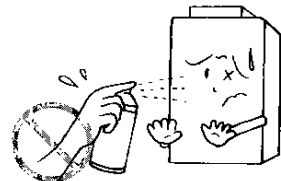
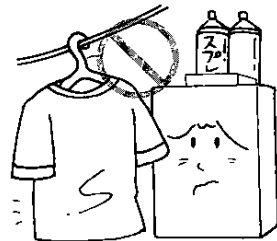
- 機器および排気口（排気筒）の周囲に燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 排気口（排気トップ）は洗濯物などでおおわない。不完全燃焼の原因となります。

#### 〔スプレー缶厳禁〕

- 機器の周囲にスプレー缶を置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。

#### 〔引火のおそれがあるもの使用禁止〕

- 機器の周囲ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火のおそれのあるものを使用しない。引火・爆発の原因となるおそれがあります。



### ■給湯・シャワーを使うとき

- お湯を止めたときに再使用するときや、お湯の量を急に少くしたとき、あるいは万一、機器の故障の際には一瞬、熱いお湯が出る場合があります。やけどの危険性がありますので、始めのお湯は手や体にかけない。
- シャワーを使うときに最初に熱いお湯が出る場合がありますので十分注意する。
- シャワーを使うときは、あらかじめ手で温度を確かめてから使う。やけどのおそれがあります。
- シャワー、給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱水や冷水が出て、熱水でやけどをしたり冷水でビックリすることがあります。



### ■電気事故防止

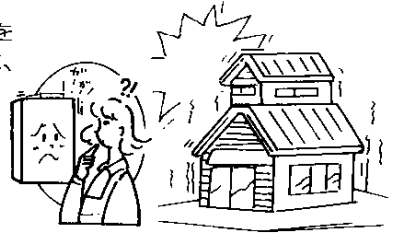
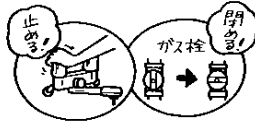
- この機器は、接地工事（アース）が必要ですので確認する。



## ⚠ 警告

### ■異常時の処置

- 万一、異常な燃焼、臭気、異常音を感じたときは、すぐ使用をやめてガス栓・給水元栓を閉めて、お買い上げの販売店または、大阪ガス支社へ連絡する。
- 地震、火災などの緊急のときは使用をやめ、ガス栓を閉める。



## ⚠ 注意

### ■用途についてのご注意

- 台所・シャワー・洗面所などへの給湯以外の用途には使用しない。思わぬ事故の原因となることがあります。



### ■やけどに注意

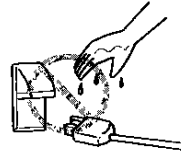
- 機器の使用時、または使用後しばらくは排気口(排気筒)とその周辺に絶対に手を触れたりしない。特に小さなお子様のおられるご家庭では、ご注意ください。高温になっていますのでやけどの危険性があります。



## お願い

### ■電気事故防止

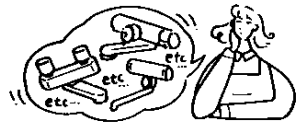
- 電源プラグは、ぬれた手で絶対にさわらない。感電するおそれがあります。
- 電源プラグの差し込みは確実にこなうこと。プラグにほこりが付着していたり、差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。
- 電源コードを引っばってプラグを抜かないこと。コードを引っばると断線して発熱や発火の原因となることがあります。



## お願い

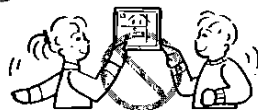
### ■市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。(わからないときは、販売店に確認してください)



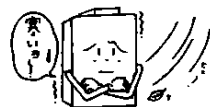
### ■リモコンについて

- リモコンは、分解しないでください。誤作動や故障の原因となります。
- メインリモコンには、水をかけないでください。浴室リモコンは、防水タイプですが故意に水をかけないでください。
- リモコンは子どもがいたずらしないように注意してください。



### ■凍結についてのご注意

- 冬期には機器内の水が凍って機器が破損することがありますので凍結のおそれがあるときは18ページの「凍結予防方法」にしたがって処置をしてください。



### ■凍結したとき

- 機器や配管が損傷しますと高額な修理費がかかります。(有料)
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯栓から水が出ることを確認し、機器および配管から水漏れがないことを確認後、12ページ「初めてお使いいただくときに」の項以下の操作を行なってください。

### ■水の使用についてのご注意

- 機器内に長時間たまった水、たとえば朝一番の使い始めのまだぬるいお湯は飲まないで雑用水としてお使いください。

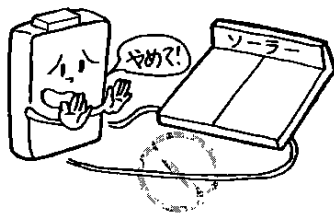


### ■出場のご注意

- 出場管にゴムホースを接続して他所へ給湯しないでください。設定湯温、湯量が出ない場合や、途中で水漏れの原因になります。

### ■用途についてのご注意

- ソーラーとは絶対に接続しないでください。夏期にソーラーの水温が高くなったときは、お湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどの危険性が高く、また機器の故障原因になります。



## お願い

### ■日常の点検・お手入れ

- 日常の点検、お手入れをしてください。(詳しくは21ページをご覧ください。)
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このとき、ご自分で修理なさらずお買い上げの販売店または、大阪ガス支社へご連絡ください。

### ■長期間使用しない場合

- 20ページの機器内の水を抜く方法により、水抜きを行なってください。  
水が長い間流れないと一瞬、濁ったお湯が出たり、冬期には凍結するおそれがあります。

### ■外出、就寝前のガス栓確認

- お出かけやおやすみになる前は、ガス栓を必ず閉めてください。



### ■ガス事故防止

- 点火消火の確認  
使用時の点火、使用後の消火の他、使用中も正常に燃焼していることを確認してください。

### ■雷が発生しているときの注意

- 激しい雷により、一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。電源プラグをコンセントから抜きますと損傷を防止できます。
- 電源プラグをコンセントから抜いた場合は、リモコンの名設定(給湯湯温・現在時刻(浴室リモコンのみ))を行ない、表示を確認した後ご使用ください。



### ■雷が鳴った後、機器が作動しないとき

- 落雷の際、お湯が出なくなった場合は機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。このようなときには、電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差しこんでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店または、大阪ガス支社へご連絡ください。

### ■停電時や電源プラグを抜いたとき

- この機器は停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉めてください。
- 再通電したときは、リモコンの設定(給湯湯温・現在時刻(浴室リモコンのみ))を行ない、表示を確認した後ご使用ください。



### ■特監法対象機器

- 33-354型の設置工事および変更工事は、法律(特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律)に基づいて行ない、工事完了後器体(機器本体)に法定のステッカー(表示ラベル)を貼付けることになっていますので確認してください。

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律(特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律)に基づいて行ない、工事完了後器体(機器本体)に法定のステッカー(表示ラベル)を貼付けることになっていますので確認してください。	
工事業者の氏名又は名称	
工事業者の住所	TEL
監督者の氏名	資格証の番号
施工内容	
施工年月日	年 月 日

ご使用前に



# 必ずお守りください

## お願い — 設置状態の確認

### ■可燃物との離隔距離

機器を設置する場所の周囲の壁、天井などが防火上安全なものであるか確認し、防火上有効な間隔をとることのできる場所に設置してください。(わからないときは、販売店に確認してください。)

### ■設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃焼音、燃焼用送風機等)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事する方とよく相談してください。)
- 足場などを組まなければメンテナンスできない高所に設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。

### ■給排気について

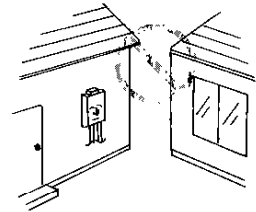
- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となり危険です。

### ■塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。

### ■排気ガス

- 排気ガスが直接建物の外壁やアルミサッシなどに当たらないよう、施工してください。外壁が変色したり、アルミサッシが腐食したりするおそれがあります。
- 排気口(排気筒)の周囲には、排気口(排気筒)からの排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペット等)を置かないでください。



### ■地下水、井戸水の注意

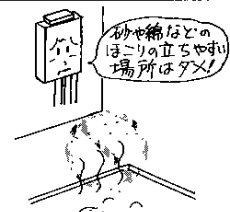
- 地下水や井戸水を使用される場合は施工前に十分、水質を確認してください。水質によっては配管や機器を腐食させることがあります。

### ■塩害

- 海岸近くに設置する場合、機器が塩分を多量に含んだ雰囲気さらされるときは、必要な防護処置をとってください。

### ■ほこり

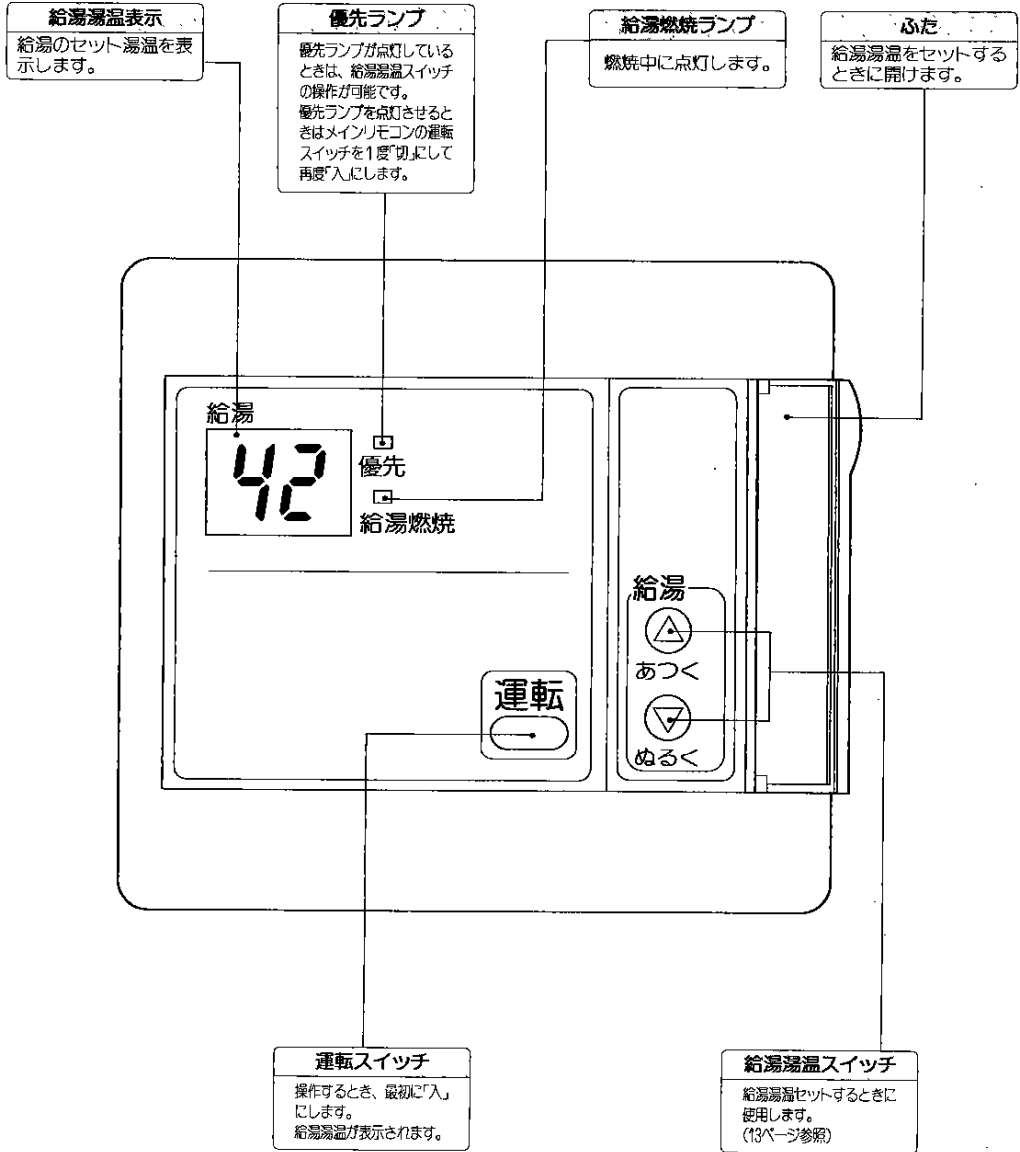
- 砂や綿などのほこりの立ちやすい場所には設置しないでください。ほこりが排気口(排気トップ)をふさいだり、燃焼用の送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。



# 各部の名まえと扱い方

## ■メインリモコン (38-352型) (別売必要品)

(注) リモコンの画面表示は説明のため、実際の運転状態を示すものではありません。リモコンはメインリモコンだけで使用できます。また浴室リモコンを取り付けて使用することもできます。

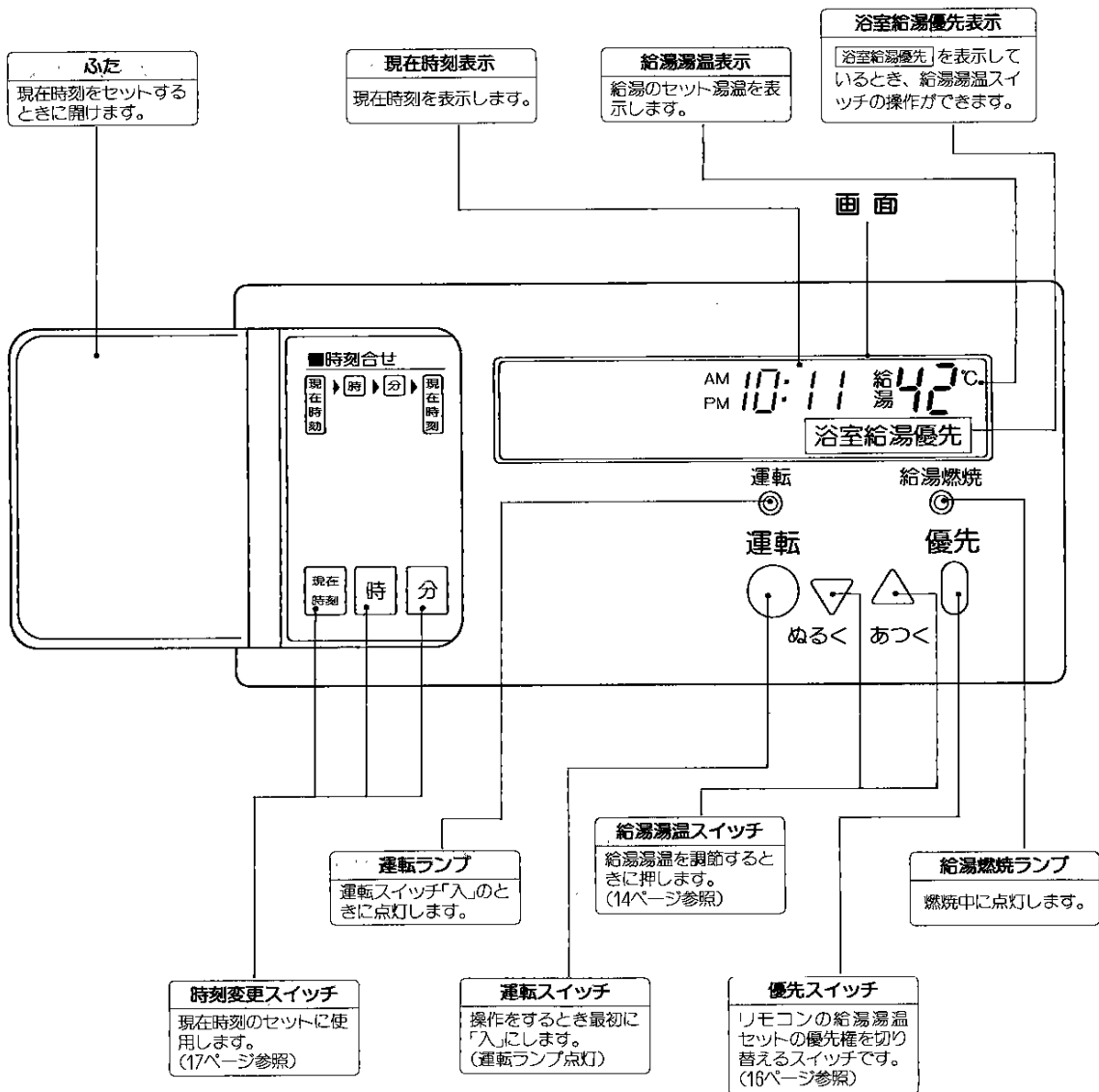


# 各部の名まえと使い方

## ■浴室リモコン(38-353型)(別売品)

(注)リモコンの画面表示は説明のためで、実際の運転状態を示すものではありません。

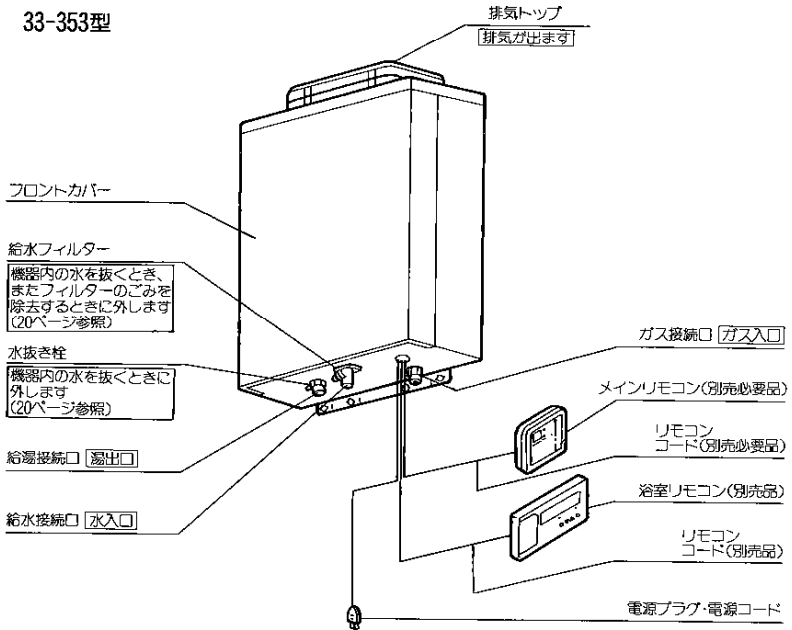
- ふたを開けた状態



# ■機器本体

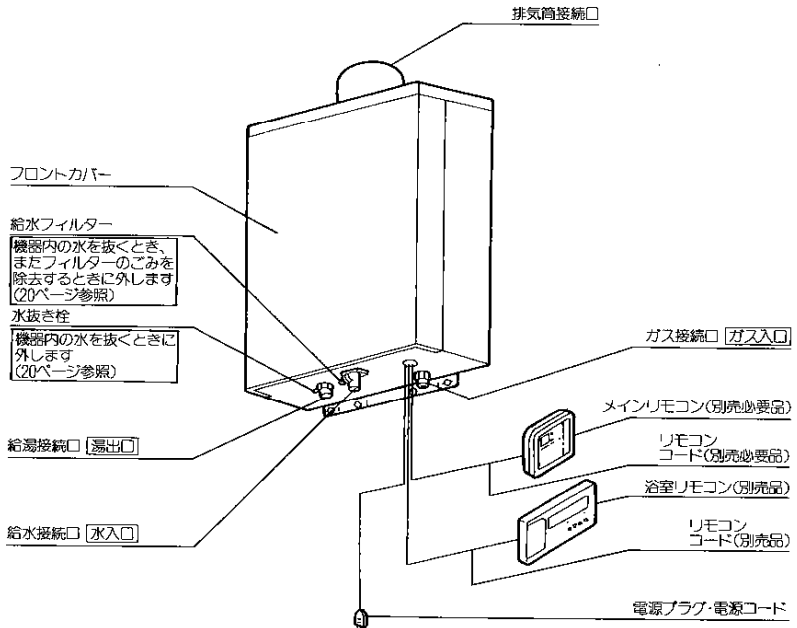
## 屋外タイプ

33-353型



## 屋内タイプ

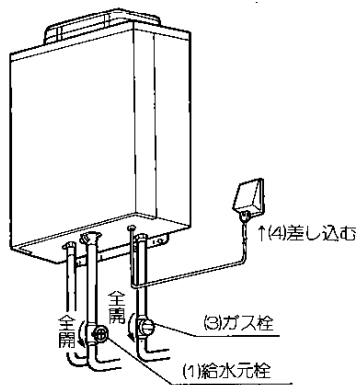
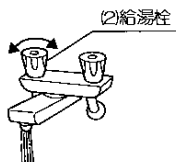
33-354型



# 初めてお使いいただくときに

## 1 初めてお使いになる ときはまず……

- (1)給水元栓（機器の下部）を全開に  
します。
- (2)給湯栓を開け、水の出ることを確  
認してから閉めます。
- (3)ガス栓（機器の下部にあります）  
を全開にします。
- (4)電源プラグ（機器の周辺にあります）  
を差し込みます。



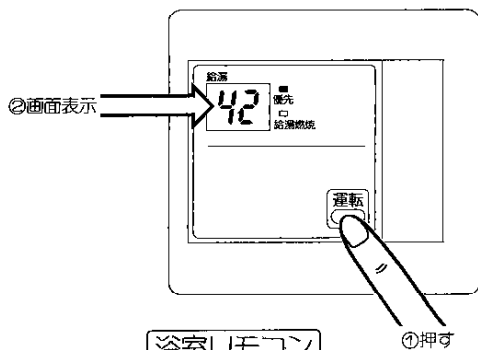
## 2 リモコンの 「運転」スイッチ を押し「入」にします。

- メインリモコン、浴室リモコンのどちら  
でも運転「入」にすることができます。
- メインリモコンの表示画面は、図のよう  
になります。
- 浴室リモコンは、「運転ランプ」が点灯し  
表示画面は、図のようになります。
- お買い上げいただいたときの給湯湯温は、  
42℃です。
- 浴室リモコンの現在時刻は、工場出荷時  
AM1:00に設定しています。

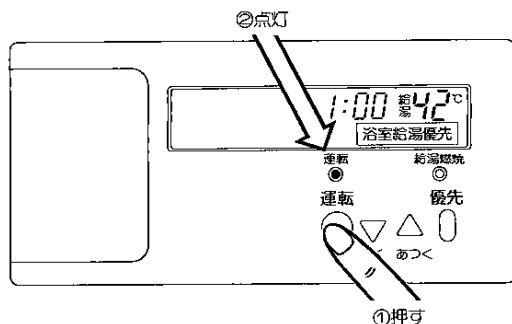
運転「入」の状態「運転」スイッチを押すと「切」になります。

- メインリモコンは、画面表示が消えます。
- 浴室リモコンは、「運転ランプ」が点灯し、画面表示が消えます。

メインリモコン



浴室リモコン



# 説明書 給湯シャワー

- 初めてお使いのときや、電源プラグを抜いたことにより通電が止まった後、再通電したときは給湯湯温表示が42℃となります。再度、セットしなおしてください。(3分未満であれば浴室リモコンのみセットしなおす必要はありません。)
- 通常、給湯湯温は「運転」スイッチを「切」にしても記憶されていますが、給湯湯温が70℃以上に設定されていた場合はやけど等の危険防止のため再度、「運転」スイッチを入れたとき、自動的に60℃に設定が変更されます。
- 60℃以上の湯温セットでのやけど防止のため、サーモスタット付混合栓の使用をおすすめします。
- 表示している湯温と給湯栓から出る湯温は配管の長さや外気温等により、必ずしも一致しません。目安としてお使いください。

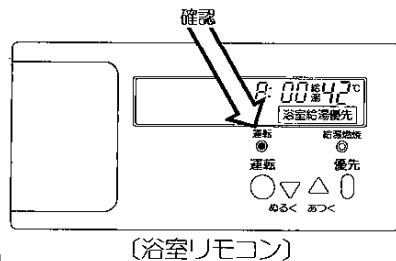
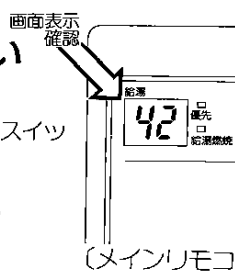
1

メインリモコンで操作するときは  
**給湯湯温が表示されていることを確かめます。**

- 表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。

浴室リモコンで操作するときは  
**「運転ランプ」が点灯していることを確かめます。**

- 「運転ランプ」が点灯していないときは、「運転」スイッチを押します。



2

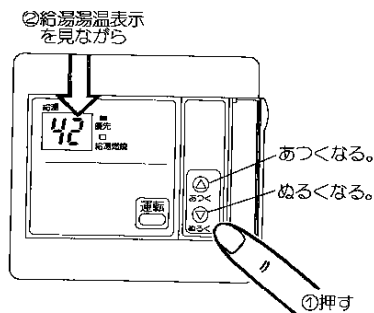
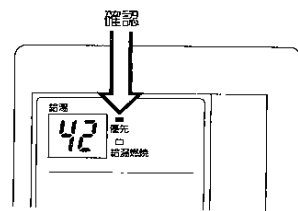
給湯湯温調節をします。  
**■メインリモコンで湯温調節をしたいとき**

1. 「優先ランプ」が点灯していることを確認します。

- 「優先ランプ」が点灯していないときは、メインリモコンの「運転スイッチ」を「切」にして再度「入」にします。

2. 「給湯湯温」スイッチを押し、湯温設定します。

- 湯温は、35・38・39・40・41・42・43・44・45・46・47・50・55・60・70・75℃の16段階設定です。50℃以上は、特に高温となりますのでご注意ください。(工場出荷時は、「42℃」に設定しています)



## △注意

- シャワー使用中に優先の変更、およびメインリモコンでの給湯湯温調節をしないでください。シャワーの温度が急に変わって危険です。
- 優先を切り替えしたとき、切り替え前のセット湯温が70℃以上であると、60℃に自動的にセットが変更されます。

## ■浴室リモコンで湯温調節をしたいとき

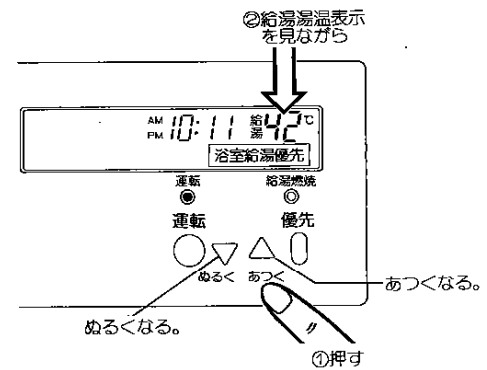
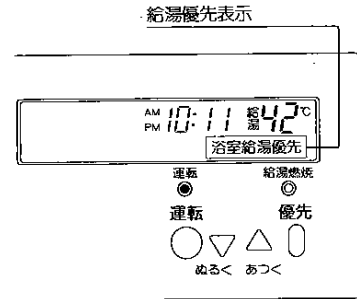
浴室リモコンの画面に

### 1. 浴室給湯優先が表示されていることを確認します。

- 浴室給湯優先が表示されていないときは、「優先」スイッチを押します。

### 2. 「給湯湯温」スイッチを押し、湯温設定します。

- 湯温は、35・38・39・40・41・42・43・44・45・46・47・50・55・60・70・75℃の16段階設定です。50℃以上は、特に高温となりますのでご注意ください。  
(工場出荷時は、「42℃」に設定しています)

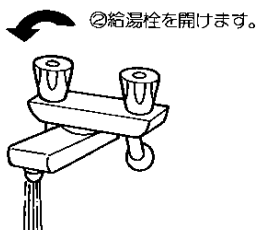
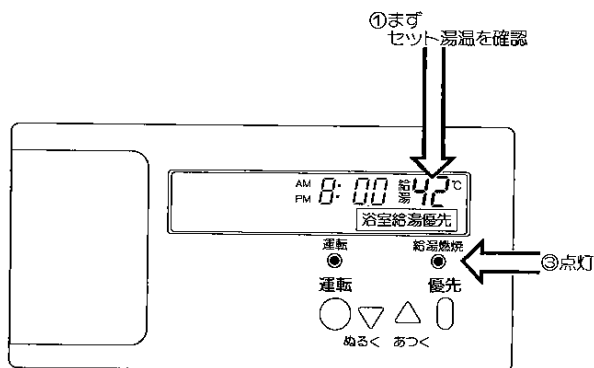
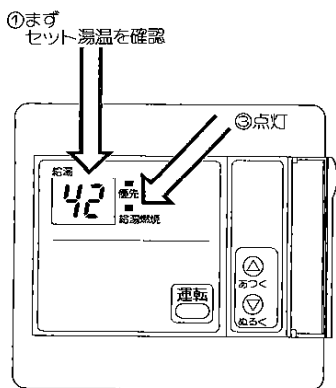


### ご注意

- 浴室でシャワーを使用するときは、浴室リモコンに「浴室給湯優先」を表示させ、給湯湯温表示を確認してください。浴室リモコンに「浴室給湯優先」が表示されているときは、メインリモコンで給湯湯温の調節はできません。
- 優先を切り替えたとき、切り替え前のセット湯温が70℃以上であると、60℃に自動的にセットされます。

### 3 セット湯温を確認して 給湯栓を開けます。

- 「給湯燃烧ランプ」が点灯し、しばらくしてお湯が出ます。



#### ⚠警告

- セットしてある湯温が高温になっている場合もありますのでシャワー等をお使いのときは、手で湯温を確認してからお使いください。

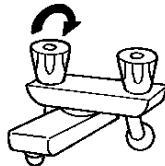
#### ご注意

- 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯は出ません。  
(配管長さにより、お湯が出るまでの時間が異なります。)
- 給湯栓を絞るすぎると(2.5ℓ/分以下)熱いお湯が出たり、消火することがあります。
- 夏期水温が30°C近くなると、低温にセットしても給湯栓から出るお湯の量が少ない場合には湯温が高くなります。このような場合には給湯栓をさらに開けて湯量を多く出すか、水と混合してお使いください。
- 冬期水温が低いときに給湯栓を全開にすると、60°C以上のお湯が出ないことがあります。60°C以上のお湯がほしい場合は給湯栓を絞ってお使いください。

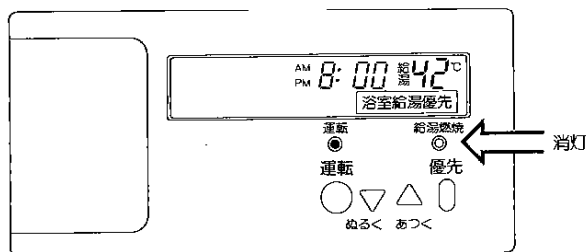
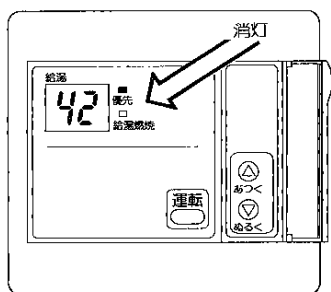


## 4 お湯を止めるときは 給湯栓を閉めます。

①給湯栓を閉めます。



- お湯が止まると「給湯燃焼ランプ」が消灯します。  
(他の給湯栓で使用中の場合は、消灯しません)



- 給湯栓を閉めても機器の燃焼用のファンモーターがしばらく回転しますが、故障ではありません。

### 優先切替について

- 危険防止のため、給湯湯温を調節できるリモコンは、どちらか一方に限られます。
- 湯温調節ができるリモコンに優先があるといえます。
- 優先は、「優先」スイッチを押すごとに、浴室リモコンまたは、メインリモコンに切り替ります。
- メインリモコンで「運転」スイッチを「入」にすると、メインリモコンに「優先ランプ」が点灯し、メインリモコンで湯温の設定ができます。
- 浴室リモコンで「運転」スイッチを「入」にすると、浴室リモコンに **浴室給湯優先** の表示が表われ浴室リモコンで湯温の設定ができます。

### 浴室リモコン(別売品)も取付けられているお宅では

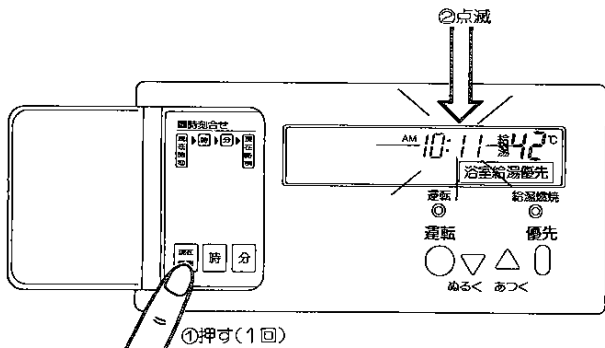
- 「運転」スイッチを「切」にした後、再度、「運転」スイッチを「入」にしたリモコンに優先表示または、「優先ランプ」が点灯し、優先を移すことができます。優先切替は、浴室リモコンの「優先」スイッチで操作することをおすすめします。

# 使用方法: 現在時刻の合わせかた

浴室リモコンを取り付けているお宅——「運転」スイッチの入切に関係なくセットできます。

**1** リモコンのふたを開け  
「現在時刻」スイッチを  
押します。

● 現在時刻表示が点滅します。



**2** 現在時刻を合わせます。

AM(午前)・PM(午後) に注意して押してください。  
スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。

## 1. 浴室リモコンの

● **時** スイッチを押して

時の位を合わせます。

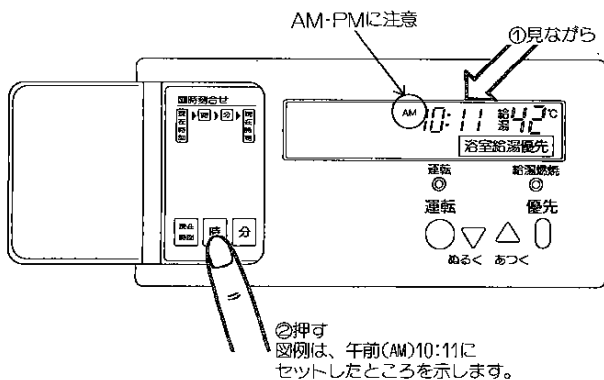
● **分** スイッチを押して

分の位を合わせます。

**2. 「現在時刻」  
スイッチをもう2回押  
します。**

● 時刻表示の点滅が止まります。

**3. ふたを閉じます。**



# 使用方法・凍結予防方法

## 冬季の凍結による破損予防の方法は

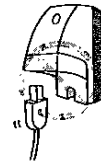
- 機器が凍結すると、給湯ができないばかりでなく水漏れ故障の原因になります。
- この機器の凍結予防方法は次の3つのケースでやり方が変わります。
  - ① 凍結予防装置による方法
  - ② 水を流す方法
  - ③ 機器の水を抜く方法（入居前や長期不在の場合）

### 1 凍結予防装置による方法

- この機器は、気温がさがってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒーターがついています。通常は機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。
- 自動凍結予防装置は「運転」スイッチの「入」・「切」に関係なく作動します。

#### ご注意

- 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。抜けていると凍結予防装置が作動しませんのでご注意ください。



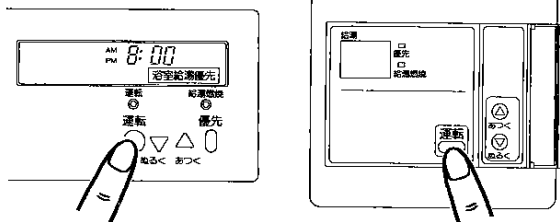
#### ご注意

- 凍結予防装置が凍結を予防できるのは外気温マイナス15℃程度までですので特に寒い時や寒波などが予想されるときは、はやめに「水を流す方法」「機器の水を抜く方法」による凍結予防の処置を行なってください。
- 機器内の凍結は予防できても配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材で被覆してください。
- 冷え込みの厳しい地域では、「水道凍結防止器」を配管およびバルブ類に巻いて、十分な保温を行なってください。

## 2 水を流す方法

- この場合は、機器本体だけでなく給水給湯配管・バルブ類の凍結予防もできます。

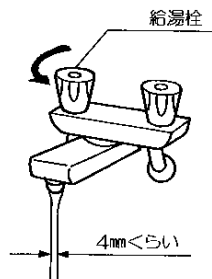
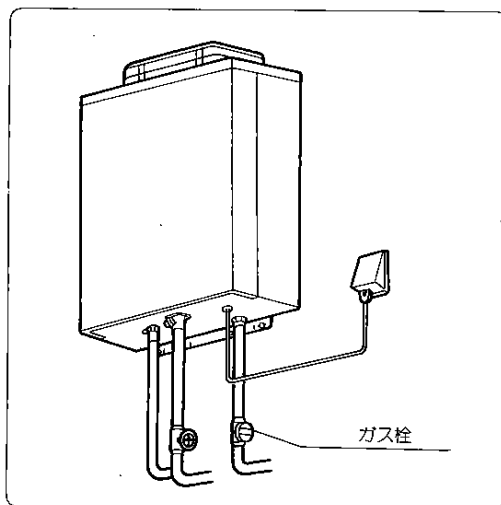
①「運転」スイッチを「切」にします。



②ガス栓を閉めます。

③浴室等の給湯栓を開け、1分間に約400cc (牛乳ビン2本ぐらい) を流し続けます。

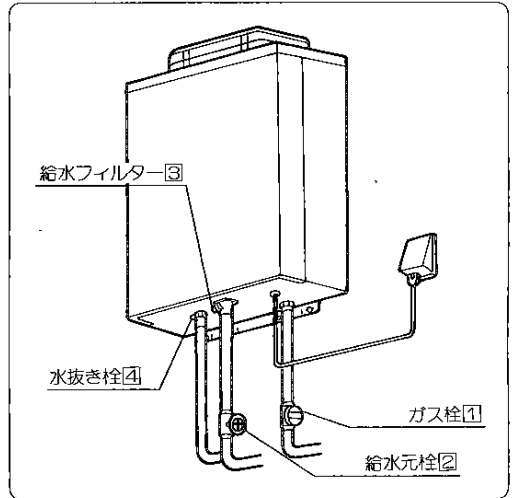
流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。



## 3 機器の水を抜く方法(入居前や長期不在の場合)

- 長期不在等で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や電源プラグを抜く場合には、この水抜き凍結予防方法によります。

- ①ガス栓①を閉めます。
- ②電源プラグを抜き、一度コンセントに差し込みます。
- ③15秒程待ち、再び電源プラグを抜きます。
- ④給水元栓②を閉めます。
- ⑤すべての給湯栓を全開にします。
- ⑥給水フィルター③、水抜き栓④を外して、水が出てくることを確認してください。
  - 以上の操作で機器内の水は排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。
- ⑦機器を使用するときは、逆の順序で行ないます。給水元栓を開き、水漏れがないか、確認してください。
- ⑧電源プラグを差し込みます。



### ご注意

- 特に寒冷地において不凍結水栓で水抜きされる場合でも必ず機器の水抜きを行なってください。

### 凍結したときは

- 凍結した場合、ガス栓・給水元栓を閉めてください。凍結したまま運転操作をしますと機器に異常が生じる場合があります。運転スイッチ「切」の状態でご給湯栓を開けて水が出てくればご使用になれます。
- 通水したら、一旦水漏れがないことを確認のうえ、ご使用ください。
- 機器や配管が破損しますと高額な修理費用がかかる場合があります。(有料)

# 点検・お手入れ

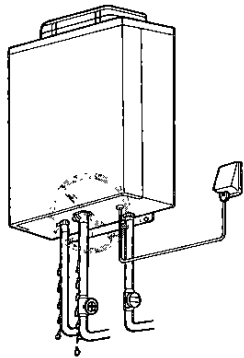
## ●点検・お手入れの際のご注意

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れを必ず行なってください。
- お手入れの前にはガス元栓を閉め、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
- 機器のフロントカバーを外さないでください。  
(機器およびリモコンは絶対に分解しないでください)
- お手入れの際、指先には十分注意してください。

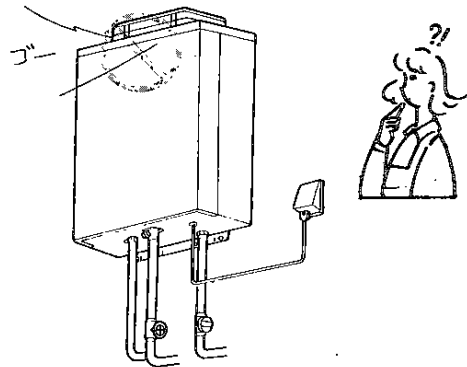
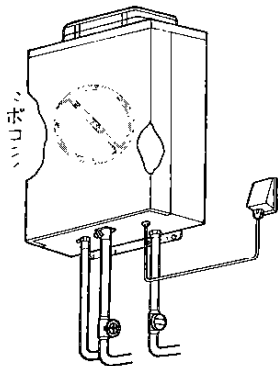


## ●点検

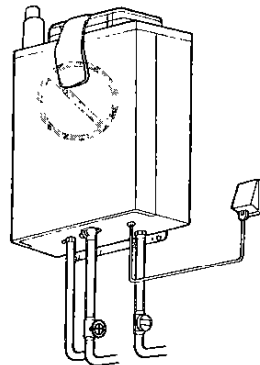
- 機器および配管より水漏れはありませんか。水漏れは、機器の故障だけでなく、お隣や階下のお客様にも多大な迷惑をかけます。
- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか。



- 機器の外観に異常は見られませんか。

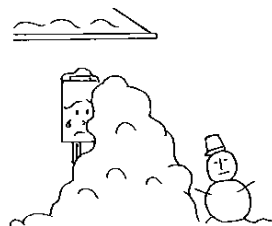


- 機器のまわり、および排気口(排気筒)のそばに燃えやすいものはありませんか。



# 点検・お手入れ

- 排気口(排気トップ)への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口(排気トップ)が閉塞されていませんか？  
機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には排気口(排気トップ)の点検、除雪を行なってください。  
屋根から落ちた雪が排気口(排気トップ)を閉塞するおそれがある場合はお買い上げの販売店または、大阪ガス社へ連絡し、設置場所を変更してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。フィルターがつまりますと、お湯の量が少なくなり、点火しないことがあります。



## ● お手入れ

### ● 本体が汚れたとき

布または、スポンジに台所用洗剤(中性洗剤)をつけてふきとってください。  
中性以外の洗剤やベンジン、シンナーなどでふくと塗料が変色することがあります。  
ベンジン、シンナーなどではふかないでください。



### ● リモコンが汚れたとき

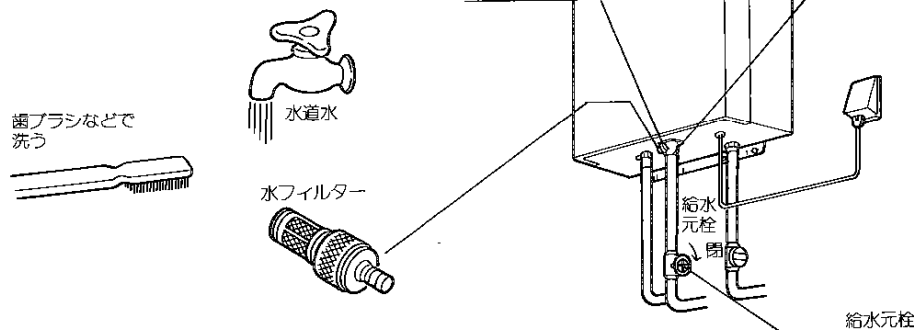
水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとってください。  
洗剤、ベンジン、シンナーなどではふかないでください。  
(注) メインリモコンには水をかけないでください。  
リモコン内に水が入り故障の原因となります。  
(浴室リモコンは防水です。)



## ● 給水側水フィルターのお手入れは

つぎの要領で定期的に行なってください。

- (1)給水元栓を閉めます。
- (2)給水接続口にある水フィルターを外します。
- (3)水フィルターを洗います。

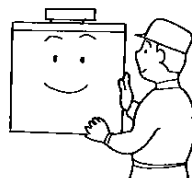


- (4)水フィルターをもとにもどします。

## ●点検・お手入れ後の確認

- 点検・お手入れの後は、ガス栓を開いて、運転スイッチを「入」にして給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。

万一、異常な燃焼・臭気・異常音を感じられたときは、使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社へご連絡ください。



## ●定期点検のおすすめ

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 機器が古くなると熱交換器やバーナーにサビやスス、ほこり等がたまったりします。また取り付け場所によりバーナーに「くも」が巣をはることがあります。このような場合不完全燃焼を起すことがあり、ときどき使用中に異常（異常音、排気に不快な臭い、目にしみる等）がないか確認してください。異常に気づかれた場合は使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。



# 故障かな?と思ったら

## 1度確認してください

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちに使用を中止され、十分な点検をしてください。

現 象	点 検 項 目
「運転ランプ」が点灯しない	電源プラグがコンセントにしっかりはいつていますか。(12ページ)
	停電していませんか。(7ページ)
「運転ランプ」が点滅する	「運転」スイッチを「切」にし、約5秒後、もう一度「入」にしてください。それでも点滅するときは、故障ですので、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社へご連絡ください。
「給湯燃焼ランプ」が点灯しない 使用中に消火したお湯が出ない	ガス栓が十分開いていますか。(12ページ)
	給水元栓が十分開いていますか。(12ページ)
	断水していませんか。
	給湯栓が十分開いていますか。(15ページ)
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	給湯栓が十分開いていますか。(15ページ)
	湯温調節は適切ですか。(13ページ)
	混合水栓やサーモキッキングバルブをお使いの場合は、リモコンの給湯湯温を60℃以上にセットしてください。

- このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、「メイン・浴室」リモコンにアラーム番号が表示されたとき(26ページ)の項目を参照してください。

## 次のような場合は故障ではありません

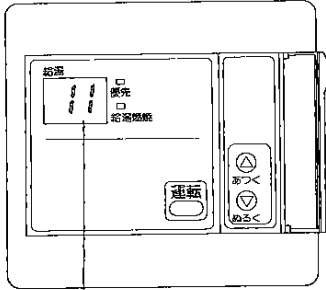
現象	原因と対策
給湯栓を絞りすぎて水になった	この機器は流量量が2.5ℓ/min以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとする、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、まったく無害なものです。
寒い日排気口（排気トップ）から白煙が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白煙となりますが、故障ではありません。
給湯栓を開いてもすぐお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
出湯停止後しばらくファンの回転音がる	再使用時の点火をより早くするため約1分間は回転しています。

# 故障かな?と思ったら

## メイン・浴室リモコンにアラーム番号が表示されたとき

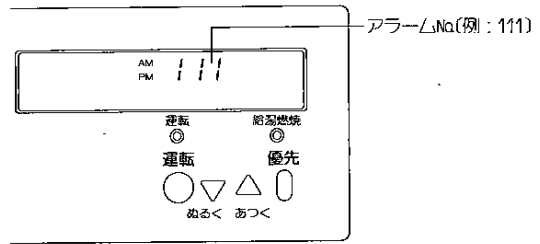
- この機器のメインリモコン(必要別売品)、浴室リモコン(別売品)には、自己診断機能がついています。機器が故障するとその故障原因に応じてリモコンの画面にアラーム番号が表示・点滅し、自動的に運転を停止します。
- アラーム番号が表示・点滅したときは、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へ修理を依頼してください。その際は、表示されているアラーム番号もお知らせください。

メインリモコン



アラームNo.(例:11)

浴室リモコン



アラームNo.		内 容	処 置 方 法	使 用 状 態
メインリモコン	浴室リモコン			
11	111	給湯側点火不良	※ガス栓確認後リセット操作  修理を依頼する	給 湯
12	121	給湯側失火		
14	141	空だき安全装置作動、電磁弁OFF		
21	211	風圧スイッチ異常		
31	311	出湯温サーミスタ断線		
32	321	入水温サーミスタ断線		
33	331	混合温サーミスタ断線		
45	451	給湯ファン回転異常		
54	541	給湯弁異常		
56	561	バイパス弁異常		
66	661	ミキシング弁異常		
71	711	給湯電磁弁回路不良		
72	721	給湯側プリ・ポスト不良		
76	761	通 信 異 常		

※リセット操作:「運転」スイッチを一度「切」にし、約5秒後再度運転スイッチを「入」にする。

# 安全装置の種類とその働き

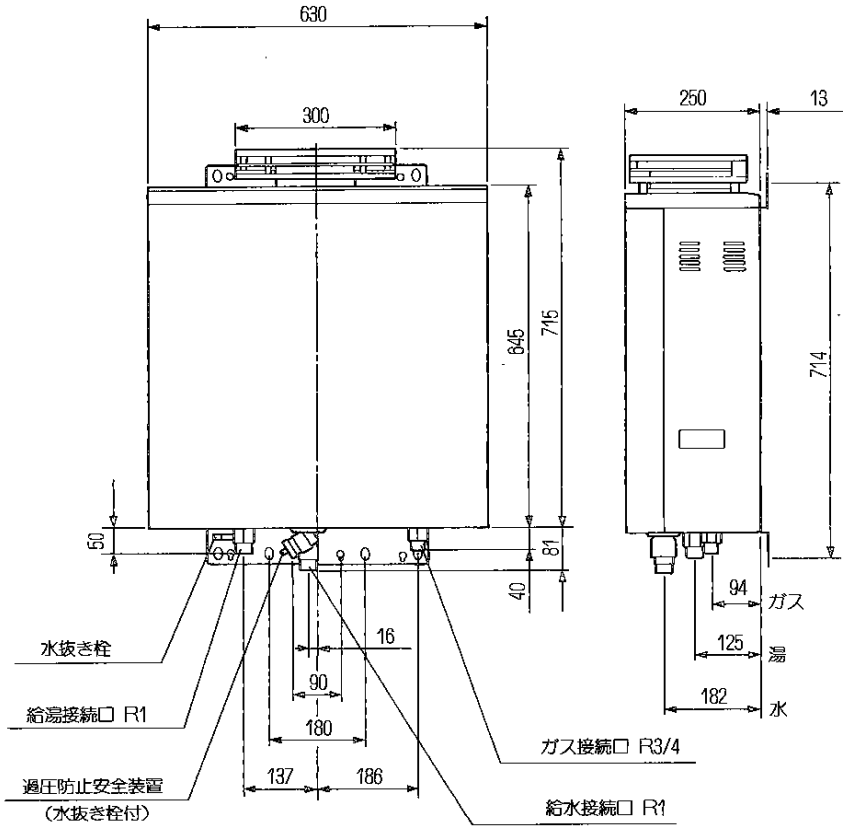
## ● 安全装置の種類とその働き

- この機器には次の様な安全装置が組み込まれています。
- **立消え安全装置**…バーナーが正常に燃焼しないとき作動し、ガスを自動的に停止します。  
(フレイムロッド方式)
- **空だき安全装置**…熱交換器が空だきしたときに作動し、燃焼を自動的に停止します。  
(バイメタル式)
- **空だき防止装置**…熱交換器内に水がないとき、ガス通路を開けず空だきにならないよう  
(水量センサー) にします。
- **過熱防止装置**…機器内部の雰囲気温度が異常に高くなったとき作動し、燃焼を自動的に  
(温度ヒューズ) に停止します。
- **過圧防止安全装置**…機器内の水通路内部の圧力が異常に高くなったとき作動し、圧力を水  
(スプリング式) 通路外に逃します。
- **漏電安全装置**…万一漏電した場合、電源を「OFF」にする装置です。  
(漏電リレー)
- **送風検知装置**…燃焼用ファンモーターが正常に回転しないとき作動し、燃焼を自動的に  
(回転数検知方式+風圧スイッチ) に停止します。
- **凍結予防装置**…機器内の雰囲気温度が低下すると作動、機器内の凍結を防止します。  
(電気ヒーター)
- **誘導雷保護装置**…雷等による一時的な過電流・過電圧が発生した場合、電子部品を保護  
(サージアブソーバー) します。

## ■ 機器本体

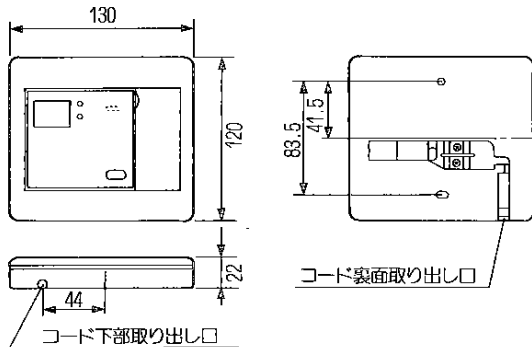
(単位: mm)

## (33-353型)

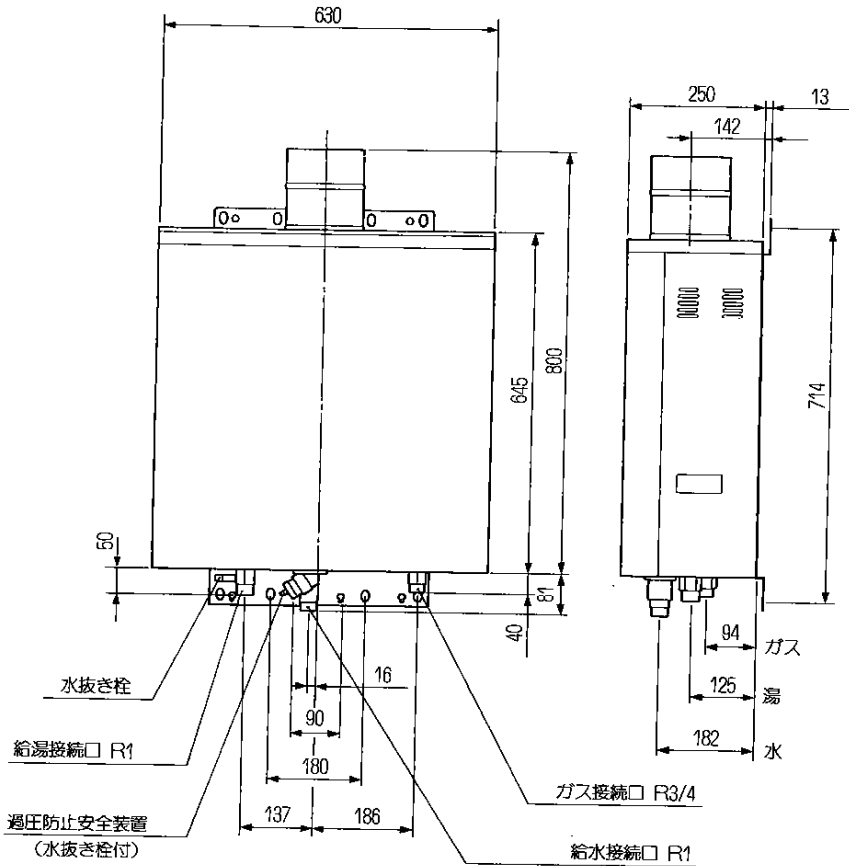


## ■ メインリモコン

(単位: mm)

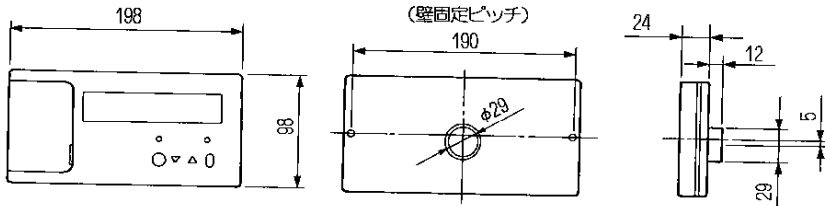


# (33-354型)



## ■浴室リモコン

(単位：mm)



点検、お手入れ、他

# 仕様

品名	33-353型			
型式名	TP-WQ555QR			
ガス種	都市ガス(13A)			
外形寸法 (mm)	幅630×奥行250×高さ715			
重量 (kg)	55			
標準ガス消費量	給湯	最大122kW (105,000kcal/h)		
出湯能力 (ℓ/min) (ガス消費量最大時)	上昇温度	25°C	(55)	
		40°C	34.4	
		50°C	27.5	
温度調節	給湯側	メインリモコン (必要別売品)	温度設定可変型	
		浴室リモコン (別売品)	温度設定可変型	
点火方式	AC100V連続放電式(ダイレクト着火)			
最低作動水圧	19.6kPa (0.2kgf/cm <sup>2</sup> )			
材質	本体外装 / 塗装	溶融亜鉛メッキ鋼板/粉体焼付塗装		
	排気部 / 給気部	ステンレス鋼板/溶融亜鉛メッキ鋼板		
	熱交換器 / パーナ	脱酸銅/ステンレス鋼板		
接続	ガス	20A(R3/4)オネジ		
	給水・給湯	25A(R1)オネジ		
電気関係	電源	AC100V(50Hz/60Hz)		
	リモコン側	消費電力	24V以下	
		消費電力	無負荷時	30W以下
			使用時	173W
	凍結予防時	電気ヒーター 280W		
安全装置	空だき防止装置(水量センサー)      過熱防止装置(温度ヒューズ) 立消え安全装置(フレームロッド方式)      送風検知装置(回転検知方式+風圧スイッチ) 空だき安全装置(パイメタル式)      過圧防止安全装置(スプリング式) 凍結予防装置(電気ヒーター)      誘着雷保護装置(サージアブソーバー) 漏電安全装置(漏電リレー)			
日水協認可登録番号	共A-6190			

◎出湯能力は計算値です。

◎ガス:JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。

品名	33-354型		
型式名	TP-WQ555QE		
ガス種	都市ガス(13A)		
外形寸法 (mm)	幅630×奥行250×高さ800		
重量 (kg)	55		
標準ガス消費量	給湯	最大122kW (105,000kcal/h)	
出湯能力 (ℓ/min) (ガス消費量最大時)	上昇温度	25°C (55)	
		40°C 34.4	
		50°C 27.5	
温度調節	給湯側	メインリモコン (必要別売品) 温度設定可変型	
		浴室リモコン (別売品) 温度設定可変型	
点火方式	AC100V連続放電式(ダイレクト着火)		
最低作動水圧	19.6kPa (0.2kgf/cm <sup>2</sup> )		
材質	本体外装 / 塗装	溶融亜鉛メッキ鋼板/粉体焼付塗装	
	排気部 / 給気部	ステンレス鋼板/溶融亜鉛メッキ鋼板	
	熱交換器 / パーナ	脱酸銅/ステンレス鋼板	
接続	ガス	20A(R3/4)オネジ	
	給水・給湯	25A(R1)オネジ	
	排気筒	φ150	
電気関係	電源	AC100V(50Hz/60Hz)	
	リモコン側	24V以下	
	消費電力	無負荷時	30W以下
		使用時	191W
	凍結予防時	電気ヒーター 280W	
安全装置	空だき防止装置(水量センサー) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 立消え安全装置(フレイムロック方式) 送風検知装置(回転検知方式+風圧スイッチ) 空だき安全装置(パイメタル式) 過圧防止安全装置(スプリング式) 凍結予防装置(電気ヒーター) 誘導雷保護装置(サージアブソーバー) 漏電安全装置(漏電リレー)		
日水協認可登録番号	共A-6190		

◎出湯能力は計算値です。

◎ガス:JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。

点検、お手入れ、他



# 保管とアフターサービス

## ■長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
  - (1)ガスの元栓を閉じる。
  - (2)給水元栓を閉じる。
  - (3)運転スイッチを「切」にする。
  - (4)機器の水抜きを行なう。(水抜き方法は20ページを参照してください。)
  - (5)電源プラグを抜く。

## ■アフターサービスについて

### サービスを依頼される時は

- ①まず「故障かな?と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。
- ②アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。
  1. ご住所・お名前・電話番号・道順(付近の目印等)
  2. 品名…33-353型  
33-354型  
(右のようなラベルを機器のフロントカバーに貼付けてあります。)
  3. 現象…できるだけ詳しく
  4. 訪問ご希望日

**(N)33-353型**

大阪ガス株式会社

### 転居される場合

- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

### 保証について

- このガス給湯器には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、ガス給湯器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。

### 補修用性能部品の最低保有期間について

- 補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は製造打切後7年です。その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。

大阪ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社	〒550	大阪市西区千代崎3-2-95	☎(06)	586-3200
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	☎(0722)	38-1131
北部支社	〒569	高槻市藤の里町39-6	☎(0726)	71-0361
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2-3-17	☎(0729)	62-1131
兵庫支社	〒650	神戸市中央区東川崎町1-8-2	☎(078)	360-3100
京都支社	〒600	京都市下京区中堂寺粟田町1	☎(075)	311-7381
奈良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1	☎(0742)	44-1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1-5	☎(0734)	31-2481
兵庫西支社	〒670	姫路市神屋町4-8	☎(0792)	85-2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6-57	☎(0796)	23-2221
滋賀支社	〒525	草津市西大路町5-34	☎(0775)	62-5311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町12-11	☎(0749)	22-3131
長浜営業センター	〒526	長浜市南呉服町3-4	☎(0749)	62-7171
本社・ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2	☎(06)	202-2221

## 大阪ガス株式会社

### おねがい

ガスくさいときは、ガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。